

2021 第7回

経営労働問題全国交流会

事業の再構築に向けた企業づくり ～コロナで深める『労使見解』～

交流会の開催経過と趣旨

1984年から毎年開催していた「中小企業労使問題全国交流会」と、2006年から開催していた「経営指針成文化運動交流会」を2009年に合同で開催して以降、「経営労働問題全国交流会」と名称を変更して隔年で開催しています。

中同協経営労働委員会が担当する各分野の交流や経営労働・経営指針に携わる各同友会会員が企業づくり運動について、より見識を深めることを開催趣旨としています。



開催意義

- (1) 経営労働委員会が担当する4部門（①労使見解*の理解と実践の推進、②経営指針成文化・実践運動の推進、③企業変革支援プログラムの作成・改訂と普及、④労使における今日的課題の検討）について見識を深め、同友会がめざす企業づくりの運動を交流・推進する場とします。
- (2) 各地で「人を生かす経営」＝「労使見解」の実施企業を増やし雇用と地域をまもる中小企業の役割を再認識し、地域からの期待に応えられる企業づくりの方向を確認する場とします。
- (3) 新型コロナの影響が続き、「激動をよき友に」全社一丸経営が求められる中で「労使見解」を深め、実践することの重要性を確認する場とします。

*「中小企業における労使関係の見解（労使見解）」。1975年に発表された労使の信頼関係こそ企業発展の原動力であるとする見解。「経営者の責任」をはじめ8つの項目から構成されている。中同協発行『人を生かす経営』所収。

参加対象

- (1) 各地経営労働委員、経営指針成文化運動等に携わる役員。
- (2) 同友会がめざす企業づくり運動を推進する会員及び事務局。
- (3) 経営指針を成文化し、企業変革支援プログラムに取り組んでいる会員。

開催概要

日時：2021年9月21日（火）13時～17時30分

開催方法：オンライン（Zoom）

規模：200名

会費：2,000円

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため課税仕入れにはしないようにお願いします。

申込締切 9月14日（火）

※9月15日（水）以降のキャンセルは会費の全額をご負担いただきます。



主催 中小企業家同友会全国協議会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷KTビル3F
TEL03-5215-0877 FAX03-5215-0878



《記念講演》

「ビジネスと人権」とこれからの企業経営

～「人を生かす経営」を国際的視野から深める～

講師 日本貿易振興機構アジア経済研究所

新領域研究センター法・制度研究グループ長 山田 美和氏

2011年に国連は「ビジネスと人権に関する指導原則」を採択するなど、世界的に「人権尊重の経営」を重視する流れが高まっています。そのような世界の潮流の中にあって、長年同友会が取り組んできた「人間尊重の経営」「人を生かす経営」の意義や実践のあり方について学びます。

<講師プロフィール> ジョージタウン大学法律大学院、ロンドン大学キングスカレッジにて法学修士号を取得。法律事務所勤務を経てアジア経済研究所入所。海外派遣員（バンコク）などを経て2011年より現職。企業と人権に関する日本のトップリーダーとして国内外で活躍中。

《報告》

中小輝業への道～就業規則と「働く環境づくり」で成長する

報告者 中同協経営労働副委員長 藤浦 隆英氏

〔レイバーセクション 所長（東京）〕

2021年7月に中同協監修で『中小輝業への道～就業規則と「働く環境づくり」で成長する』が発刊されました。本書は「人を生かす経営」の視点から就業規則のあり方を提起したもので、経営者と社員が相互に理解し合って協力する新しい形の労使関係をつくることをめざしたものです。著者の一人である藤浦氏が本書のねらいや概要、活用のしかたなどを提起します。



《事例報告》

社員に寄り添う働く環境づくりは「共に生きる道」

報告者 ていくあい(有) 代表取締役 竹村 ひとみ氏（奈良）



『中小輝業への道』にも紹介されている同社の「働く環境づくり」の実践を中心に報告していただきます。

事業内容：介護に関わる事業一般 創業：2004年 所在地：奈良県奈良市
社員数：正社員9名、パート・アルバイト7名 URL：<https://teikuai.grupo.jp/>

【当日のスケジュール】（予定）

12：30	受付開始	15：10	事例報告
13：00	開会・問題提起	15：40	休憩
13：10	記念講演	15：50	グループ討論
14：10	休憩	17：00	グループからの発表、まとめ
14：20	報告	17：20	連絡事項、閉会あいさつ
		17：30	閉会

交流会にぜひご参加を

2019年「第6回経営労働問題全国交流会」以後の2年間の間は、コロナ禍による経営環境の激変の期間となりました。今回開催される「第7回経営労働問題全国交流会」は、オンラインによる開催となりますが、その内容は、まさに「同友会らしい事業の再構築とは何か」を明らかにする交流会となります。

交流会の目的の第1は、「同友会らしい事業の再構築」をいかに推進すべきかを、実践的に明らかにすることです。コロナ禍での事業の継続のために「変えてはならないこと」と「変えなければならないこと」を明らかにしなければなりません。各地で「本業にこだわらず、しかし本業を離れず」の精神で、自社の固有技術の先鋭化をおこない「事業の再構築」に取り組む実践が生まれました。

目的の第2は、同友会らしい事業の再構築とは、いかなる変革を推進するにしても、「労使見解」に基づく人間尊重の経営で、「経営指針」に基づき推進することを確認することです。

目的の第3は、経営者が、心底、社員を最も信頼するパートナーとして、経営指針の実践の際には、就業規則もあわせて実践の対象とすることの重要性を明らかにすることです。

アフターコロナを展望した実践の方向性を交流するために、ぜひともご参加ください。

中同協経営労働委員長 林 哲也



参加申込

ご所属の同友会事務局までお申し込みください。

<事務局のみなさま>参加登録はネットプロでお願いいたします。